

取組実績については、以下のとおり

i)住宅所有者に対する直接的な耐震化促進

	R2	R3	R4	R5	R6	R7 (予定)
戸別訪問の実施件数	12	5	31	3	7	60
ダイレクトメールの送付件数	24	11	5	27	21	10

ii)耐震診断実施者に対する耐震化促進  
資料編のとおり

iii)改修事業者の技術力向上

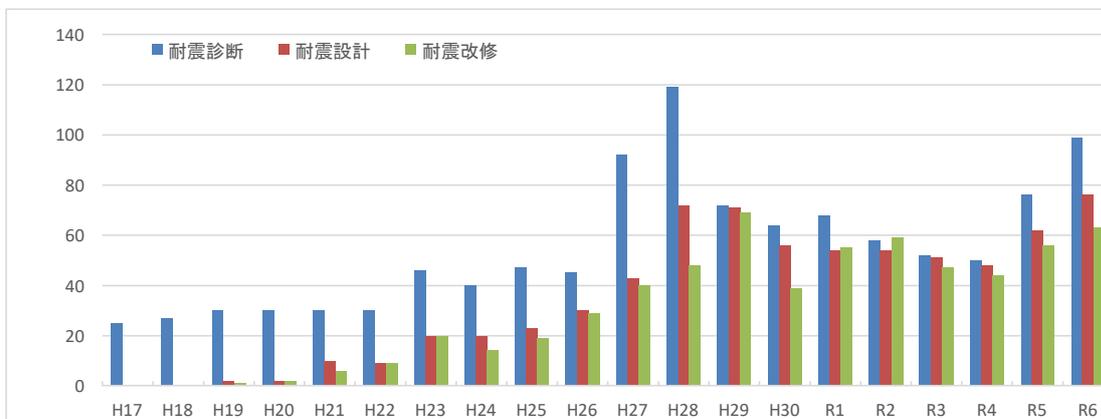
	R2	R3	R4	R5	R6	R7 (予定)
耐震診断士講習会	2	2	4	3	3	4
低コスト工法講習会 (名古屋工業大学高度防災工学センター共催)	2 (オンライン)	9月~2月 (オンライン)	—	2(対面)、9月~2 月(オンライン)	2(対面)、11月~2 月(オンライン)	2(対面)、9月~2 月(オンライン)
低コスト工法講習会 (県主催)	—	—	—	—	—	—
事業者登録推進講習会	—	1	2	1	2	2
耐震改修技術学校	—	—	—	1	2	2
耐震補強工事実務講習会	—	—	—	—	—	—

iv)一般への周知普及

	R2	R3	R4	R5	R6	R7 (予定)
広報誌等への掲載	4月	4月	4月	4月	4, 6, 3月	6月
イベントでのブース展示	11月・3月	3月	3月	11月	11月	11月
庁舎内パネル展示	11月・3月	3月	3月	11月	11月	11月

○耐震改修の実績

	(棟数)	R2	R3	R4	R5	R6	R7 (予定)
耐震診断		58	52	50	76	99	
耐震設計		54	51	48	62	76	
耐震改修		59	47	44	56	63	70



○前年度の取組内容

問い合わせがあれば、すぐに現地確認や資料送付し、申請者の相談に寄り添う事で、一件でも多く耐震改修してもらえよう努めた。  
戸別訪問や町の広報を積極的に行い、事業のPRを図った。

○見えてきた課題

耐震改修が高額という認識があり、工事等を躊躇する町民が一定数いることが分かった。耐震改修に掛かる平均の自己負担金を示し、補助金を活用できれば低コストでも実施できることをPRしていきたい。

○今年度の取組内容

今年度も町のイベント実施時に住宅耐震ブースの出展や広報掲載を行い、引き続き各種補助制度を積極的にPRしていく。

